



姫路おでん

ベースとなるおでんには関東煮(かんとうだき)と呼ばれる濃く甘い味付けのおでんと関西風の薄味のおでんがありますが、どちらのおでんも生姜醤油で食べるのが姫路流。甘辛い味のはざっぱりと、薄味のものにはアクセントになって、絶妙な味わいです。

●姫路市観光交流推進室
☎079-287-3651



ゲヒメジガハウス

旅好きのオーナー松岡京子さんが、姫路城から徒歩約8分、本町商店街の中に元食堂を改装して立ち上げたゲストハウス。訪れる人の6~7割が外国人。共有スペースなどで異国の人との会話やコミュニケーションを楽しめるのが醍醐味です。個室(2名1室利用)7,000円、ドミトリタイプは1人2,700円。

●姫路市本町68 ☎070-5665-5888



縁楽堂

古くは足軽が住んでいたという由来を持つ築100年はたつという古民家を、オーナー・ジャイアンさんと長谷川洋さんがリフォーム。人と人との「縁」を大切に、と考えられたその名のとおり、国内外問わず多くの人が集います。ドミトリタイプは2,500円、シングル3,000円、ツイン7,000円(2名1室利用)。

●姫路市柳町8-2 ☎090-9717-6763



城下町の姿を伝える

野里界限

城下町の雰囲気を今に伝える野里界限。江戸時代には鎗物や鍛冶、武具職人が暮らしたと言われています。野里を代表する古刹・慶雲寺や藍染めを今に伝える魚橋呉服店、大正時代に建てられた町屋・尾張屋などを訪ね歩きながら、どこか懐かしい街の風情を感じてみてください。



魚橋呉服店 尾張屋



姫路城

兵庫県唯一の世界文化遺産・姫路城。すでに素屋根の撤去を終え、白く輝く大天守が姿を現しました。平成27年3月27日には登城も可能になります。5年ぶりの城の美を堪能しませんか。

●姫路市本町68 ☎079-285-1146
9:00~16:00
※4月下旬~8月31日までは~17:00(閉門は1時間後)
12月29日・30日休園
大人400円、中学生~5歳100円
※27年3月27日以降は大人1,000円、高校生~小学生300円

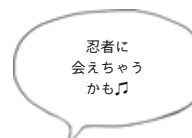


最近、忍者が城内に不定期に出没！観光客をもてなすパフォーマンスが行われています。姫路忍者会 ☎090-8571-9887



姫路のモーニング

テレビ番組で紹介されて全国的にも知られるようになったアーモンドトーストは昔ながらの喫茶店でどうぞ。コーヒーをオーダーするとトーストや卵が無料ついてくる独特のスタイルのお店も多く、ボリュームたっぷりののが特徴。正午までモーニングを食べられる店もあるので、ランチに利用するのもおすすめです。



姫路城下ぶらり散歩

世界遺産姫路城は3月27日にグランドオープン。白く輝く姫路城を背景に、城下町散策を楽しみませんか。せっかくなのでゲストハウスで1泊していろいろな人とのふれあいを楽しむのも◎。

姫路城西御屋敷跡庭園 好古園

姫路城の隣にある好古園は、武家屋敷の地割りを生かした9つの庭を散策できる場所。築地塀などで区切られた園内は、江戸時代の城下町を歩いているような趣があります。歩き疲れたら、姫路名物穴子丼をいただける活水軒や抹茶を楽しめる本格的な茶室で休憩して、ゆっくり流るる時間を楽しんで。

●姫路市本町68 ☎079-289-4120
9:00~17:00
※4月下旬~8月31日までは~18:00(入園は30分前まで)
12月29日・30日休園
大人300円、子ども150円



おすすめの穴子丼セット 1,350円

お土産にしたい姫路メイド



姫路革細工

姫路市特産の白鞆革に型付けし、ていねいに筆で絵付けした後、漆をほどこして古びをつけた姫路革細工。伝統柄も新しい柄も何ともいえない味わい深さがあります。財布や名刺入れ、小銭入れなどお土産やプレゼントにも喜ばれそうです。

姫路市観光交流推進室 ☎079-287-3651



油菓子

江戸後期に姫路藩士が長崎でオランダ人から学んだ技術をもとに作ったと伝えられる油菓子。各地から集積された良質の小麦粉、菜種油を使うことで「姫路駄菓子」としてその名を全国に知られるようになりました。



モデルプラン

- 姫路駅周辺でモーニング
- ▼ 徒歩約20分
- 姫路城
- ▼ 徒歩約5分
- 好古園
- ▼ 徒歩約20分・バス約5分
- 野里界限
- ▼ 徒歩約20分・バス約5分
- 商店街散策(買い物・食事)
- ▼ 徒歩約10~25分
- ゲストハウス宿泊
- ▼ オプションプランへ